

2015年11月3日 農福連携マルシェ in 京都

場所: 京都府庁旧本館前庭



すべてはここから始まった！



(左から)
佐藤農林水産政務次官、竹内厚生
労働副大臣、山田京都府知事



関係者からさんさん山城の濃茶大福、
京都えびいもなどが注目を集め……

ノフフク
noufuku.jp

農林水産省「消費者の部屋」特別展示

はじめよう農福連携

2015年12月21日(月)～12月25日(金)
10:00～17:00 (12月21日は12:00から、12月25日は13:00まで) ※12月23日は休日のため閉館となります。
場所: 農林水産省北別館1階「消費者の部屋」

全国各地の農福連携への取り組みを、パネルや商品でご紹介します。
12月24日は、農福連携実践セミナーも同時開催! 「農福連携」の今が体感できます。



農福連携ミニマルシェ

12月21日・22日・24日 12:00～14:00

障害者施設で作った新鮮野菜、農産物加工品などを販売!
各日とも販売数量が限られており、商品が売り切れ次第終了いたします。

22日は、クリスマス商品を限定販売

○クリスマスミニフォンケーキ ○クリスマススッキー

○コットンペイプ・クッキーセット(被災地いわき市のNPOとのコラボ商品)



写真と実際の商品とは異なる場合がございます

農福連携実践セミナー

12月24日 14:00～

障害者施設でいち早く自然栽培を
実践した農福連携の取り組みを実態を交えて紹介します。

講師

株式会社パーソナル アシスタント 代表 佐伯 康人氏

一般社団法人 JIA 共同総合研究所 主任研究員

農林水産政策研究所有員 研究員

「農」のある暮らしづくりアドバイザー

濱田 健司氏

農福連携作業体験

障害者の方が行っている農作業! 障害者の方が
作業しやすいような工夫がされています。
皆さんも体験してみませんか?



農林水産省と厚生労働省では「農業」と「福祉」の連携促進に取り組んでいます。

【お問い合わせ】

農林水産省農村振興局都市農村交流課都市農業室……………03-3502-0033

厚生労働省社会・援護局障害福祉課……………03-3595-2528

一般財団法人 地方自治体公民連携研究財団……………03-5573-4261

一般社団法人 日本基金……………03-5946-8621

農林水産省「消費者の部屋」……………03-3591-6529

【交通のご案内】

東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線の豊ヶ岡駅下車。A5、B3aの出口すぐ。

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1



農林水産省、厚生労働省より、**農福連携モデル事業所**として、**さんさん山城**が全国9事業所のうちのひとつに選出される!!! 利用者と共に農林水産省へ!



(2015年12月24日農林水産省にて)

山城就労支援事業所 さんさん山城

地域の方々とともに、宇治茶をはじめとした地域特産品を生産・加工・販売



経緯

- 聴覚障害者の就労支援の場として、平成23年に就労継続支援B型事業所を開設。
- 地域に根ざした仕事づくりを目指し、地域特産物である宇治茶・えびいも・田辺なす等の生産を開始。
- 地域農家、行政、JAなどの支援・指導のもと、農業技術を習得。

活動の成果

- 農業生産のみならず、加工・販売も行うことにより、多様な就労の場を提供。
- 高齢化等により担い手が減少するなか、新たな担い手として、産地の維持・発展に寄与。
- 加工品はJA直売所等での販売が評判を呼び、受注生産依頼も増加。

取組内容

- 廃園予定であった茶畑を借り受け、宇治茶を栽培。また、人手を要する茶苗木づくりを実施。
- 宇治茶以外にも、地域の特産品であるえびいもや田辺なす、一般野菜を生産。
- 生産した抹茶や野菜を贅沢に使用した大福やクッキー、コロッケ等を製造・販売。

今後の方針

- 地域に根ざした事業として、農業を中心とした日本の伝統文化に相応しい仕事に取り組み、障害のある方々が地域で生き生きと働ける環境づくりを目指し、地域の活性化に寄与する。



(農林水産省で展示されたパネル)

同会場にて開催された「農福連携実践セミナー」も聴講



(講師：パーソナルアシスタント・佐伯氏、JA共済総研・濱田氏)